

政策協定事項

全ての人々が、安全で生き生きとした生活を実現することができるよう、その人にふさわしい作業療法の普及・発展を推し進めていくことが、今、作業療法士に求められている。このような社会の要請に応えるべく日本作業療法士連盟と下記立候補（予定）者は、先ずは下記課題について連携・協力して取り組むことを了解し合い、その上で当選を目指し、全力を挙げて応援する。

年 月 日

日本作業療法士連盟 会長 杉原 素子

協定を結ぶ対象となる選挙：第49回衆議院議員総選挙

立候補者 印

I 「理学療法士及び作業療法士法」等の時機に応じた見直し

日本の保健・医療・福祉・教育・職業領域の仕組みはその時代の社会ニーズを見極めながら時機に応じて、動かしていくことが求められ、作業療法士の業務、配置、養成課程等に係る体制を定期的に見直し、実効性の高いリハビリテーション技術の提供を目指す必要がある。また、今後の作業療法のあり様に関わる研修体制の整備も併せて検討していく必要がある。

II 地域共生社会の実現および地域包括ケアシステムにおける多職種連携を推進するために必要な作業療法士の配置と活用

1. 病や障害を持つ人が、それぞれに住み慣れた地域でその人らしい生活を営むために予防期・急性期・回復期・生活維持期・終末期の各時期の活動の場への作業療法士の適切な配置。
2. 高齢者および障害児者（難病、身体障害、精神障害、発達障害等）の地域生活に関わる相談支援、特別教育支援、就労支援、生活支援等の場への作業療法士の適切な配置促進。